

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援施設放課後等デイサービス ぱれっと			
○保護者評価実施期間	令和6年12月16日		～	令和6年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	令和6年12月16日		～	令和6年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちへの接する時間は多く取り、関わりやコミュニケーションを積極的に図っている。	「褒める」ということを常に行い、子どもたちに自信をつけてもらいながら苦手なものへの克服や新たな事への挑戦などを促している。	関わりやコミュニケーションを上手に取れない子が多いため、職員が仲介をしながら輪の中へ入っていきけるように声かけを行う。
2	一人一人に合わせた手厚い療育を心がけ、関係機関と連携を図っている。	その子その子に見合った療育を提供していく為に、関係機関(幼稚園や学校、おそら園など)との情報の共有を定期的に行っています。	幼稚園や学校行事など見学に行かせていただき、幼稚園や学校での様子を拝見してもらい手厚い療育を提供するための情報の共有を図っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民との交流や関わりが少なく、「事業所」という認識が薄いこと。	町内自体の交流の場が少なく、関わり合う場を設けることが難しい。	今後は積極的にゴミ拾いなどの交流の場に足を運び、地域住民との関わりを増やしていきけるように検討します。
2	外遊びや外活動(夏は水遊び冬は雪遊びなど)を行う際、目の前が道路の為車などの危険なものへの対応が不十分なこと。	建物の構造の為、容易に改善をすることは難しい。	危険に十分配慮ができるように職員の配置を検討していきます。公園や市内の安全な場で身体を動かせるように活動を提供していきます。
3			